

市民が地域活動に参加できる環境の乏しさ

(まちづくりに関する情報の不足, まちづくりのイメージを持つことができるきっかけの不在, 様々な人との出会いや交流の不足など)

番号	課題	市 民			行 政	課題解決策	備考
		これまで取り組んできた内容 実例等			関連してこれまで取り組んできた対応策 (協働事業)		
		【取り組み主体】	【課題に対するこれまでの対応】	何が必要とされているか			
1	新しい住宅地 新住民	自治会員	・住民同士のつながり作り ・親睦, 交流を中心に会員の声から年間行事づくり	・次世代との接点がないので, 子どもたちを通じての接点(交流)が必要	・交流の場としての, 集会所の建設修繕等に対する補助を実施	・地域コミュニティを活性化させる。 (例えば出会いの場を設ける。) ・情報交換・交流について, 場所・機会の充実	
3	地域交流	育てる会	・交流の場所を設ける	・交流の場があっても, 送迎が必要な方が多い	・交流の場としての, 集会所の建設修繕等に対する補助を実施	・地域コミュニティの活性化させる。 (例えば出会いの場を設ける。) ・活動内容を学校・PTA にも知ってもらい, 一緒に話し合う場が必要なのでは。	
3	地域交流	南山わんぱくキッズサポーター	・あいさつ	・小学生の親の協力性が欠けており, 他人まかせの方が多		・地域コミュニティの活性化させる。 (例えば出会いの場を設ける。) ・活動内容を学校・PTA にも知ってもらい, 一緒に話し合う場が必要なのでは。	
3	地域交流	スクールガード	・あいさつ	・小学生の親の協力性が欠けており, 他人まかせの方が多	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・地域コミュニティの活性化させる。 (例えば出会いの場を設ける。) ・活動内容を学校・PTA にも知ってもらい, 一緒に話し合う場が必要なのでは。	
4	環境美化	育てる会	・環境課主体のアダプトに加盟し, 福祉センター前の道路のゴミ拾い	・モラルを持った大人への教育	・ボランティア保険への加入 ・ごみゼロ運動 ・ポイ捨て禁止条例 ・ナイナイキャンペーン ・資源回収運動奨励金 ・不法投棄多発箇所への花苗の植栽 など	・環境教育を充実させる。 (昨年度市全体で行ったが, 地区別などでも行う。)	
4	環境美化	育てる会	・温暖化防止でサンパチェンス普及のアピール	・興味を持ってもらえるようなアピール	・地球温暖化対策の啓発についてホームページ等へ掲載	・環境教育を充実させる。 (昨年度市全体で行ったが, 地区別などでも行う。)	
5	地域特性	子ども会育成会 小中学校 PTA	・行事への参加の声かけ ・行政への協力の依頼 ・父親の手伝いをお願い	・小さな子どもからお年寄りまでが参加できるイベント	・子ども会育成会, 小中学校 PTA の活動に対する補助金	・活動内容を学校・PTA にも知ってもらい, 一緒に話し合う場が必要なのでは。 ・自治会や行政の資金的支援	
9	「集うきっかけがない」地区スポーツ大会	自治会	・毎年の夏の活動としての確立(本年度で22回 15回市教育委員会表彰 毎年8月最終日曜日に実施) ・全世帯参加対象 ・実行委員会(区長, 班長が主体)(青少年相談員) ・子供たちも一緒に楽しめる軽スポーツを取入れた	・自治会活動を新規住民に知ってもらい, 参加メンバーを増やす ・他の地区との交流	・とみさとスポーツ健康フェスタ	・市民に情報を公開する場を増やす。(回覧, とみさと広報等) ・新規住民に対し自治会活動を知ってもらう。	
10	「集うきっかけがない」地区スポーツ大会	スポーツ団体	・組織を明確にし, 団体活動の協力・信頼 ・市内, 他市町村との横のつながり	・若い世代から年配者でも楽しめるよう活動, 内容等を構成する	・とみさとスポーツ健康フェスタ	・市民に情報を公開する場を増やす。 (回覧, とみさと広報等)	
11	ボランティアの 担い手不足	ボランティア連絡協議会 ボランティアセンター	・広報「ささえ愛」での呼びかけ ・ボランティア連絡協議会主催の交流会でのお願い ・体験ボランティアを行う	・他の団体との連携を大事にしていきたい ・ボランティアセンターの職員の体制に問題がある 1000 件の依頼調整及び担い手との面談には常時2人は必要	・社会福祉協議会活動費補助金 ・ふれあい祭り(社会福祉協議会が事務局)への参加	・体験と通じて, 今まで関わりのないものに興味を持ってもらう。	

番号	課題	市 民		行 政	課題解決策	備考	
		これまで取り組んできた内容 実例等		関連してこれまで取り組んできた対応策 (協働事業)			
		【取り組み主体】	【課題に対するこれまでの対応】				何が必要とされているか
18	安心して住める環境づくり	区会(自治会)	・地域犯罪抑止の防犯活動 ・小学生の登下校時の犯罪・事故防止 ・活動協力者の勧誘	・行政 警察等との連携の強化 ・犯罪情報の公開 ・他地区との交流を図り,志気高揚を高める	・防犯指導員連合会補助金 ・防犯パトロール車貸出	・啓発 (元気なうちに近くに友人知人を得ることの大切さ) ・啓発 (活動を広報・会議・口コミなどで繰り返し行う)	
19	組織の運営	自治会(南七栄区会)	・役員枠の拡大と分担責任の明確化	・対外業務の増大に関らない足元への目配りや,経験を重ね調整指導能力の向上 ・役員を多くしたこと功を拡大し罪を縮小する努力の継続	・区長会補助金 ・区長会に対する人的支援	・役員を多くするメリットを十分に説明し,理解と認識を徹底する。 ・習得の機会,場所,費用を提供する。 ・場所をつくる。 ・役員には会議の近隣への「正確な口コミ」での伝達を促す。 ・定期の広報紙を発行する。 ・自治会事務局に誰もが出入りし,情報の入手,確認ができるようにする。 ・マスコミに活動の予定や実施後の情報を提供し取り上げてもらう	
20	組織の運営	富里第一小学校区協議会	・役員枠の拡大と分担責任の明確化	・区長が大切な仕事を果たしていることを地区住民へ知らせること ・団地地区自治会におけるリーダー後継者難克服 ・地区別温度差の底上げ		・自治会長(リーダー)としての講習会(時代にあったものや考え方でマンネリにならないようにする。) ・マスコミに活動の予定や実施後の情報を提供し取り上げてもらう ・学区内の民生児童委員,その他地域の有力者に,年間の活動事業計画を渡し,適宜中間の報告を行う ・3~4年で交代できる仕組みをつくる ・できるだけ早い時期での活動や行事への参加の誘いかけで融和を図る ・役員を多くしたり,専従事務員を置く(人件費捻出が別課題) ・情報,ノウハウの整理蓄積のやりかたを決めて実行する ・同一の人が複数年携わる仕組みをつくる(人で継続するなら任期制度を変える必要/課題への取り組みを継続するなら,継続性のある委員会などの設置等)	
21	組織の運営	富里市区長会	・市内76行政区を4部会に分割,16名で理事会を構成	・区長が大切な仕事を果たしていることを地区住民へ知らせること ・団地地区自治会におけるリーダー後継者難克服 ・地区別温度差の底上げ	・区長会補助金 ・区長会に対する人的支援	・広報とみさと,その他回覧や配布物で区長の取り組み ・広報とみさとに自治会情報スペースを確保し,学区または各自治会が交代で投稿または編集等を担当	
22	組織の運営	自治会(南七栄区会)	・自治会加入の仕組み,会費集金の仕組みなどについて,ルール化など	・貸家,APの所有権者の把握と自治会方針の伝達 ・仲介業者(ネットワーク)への自治会方針の周知徹底		・学区担当の職員・議員・他役員も加わって,地域のことを考えて,人と人のつながりを広げていく。	
23	安心して暮らせるまち	自治会(南七栄区会)	・自主防犯パトロール隊設立,夜間を含む防犯パトロール実施 ・昨年度後半から理事の夜間パトロール参加を呼びかけた	・活動費不足 ・活動の継続(担い手の補充)	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・声をかけて参加を集う。メリットを与える。 ・自分から挨拶をするように努める。 ・効果的な啓発と当番制の採用	
24	安心して暮らせるまち	自治会(南七栄区会)	・登下校児童の安全見守り活動	・活動費不足 ・活動を引き継ぐ人	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・効果的な啓発と当番制の採用	
25	安心して暮らせるまち	自治会(南七栄区会)	・防災訓練実施 ・住宅用火災警報器普及啓蒙 ・千葉県婦人防火クラブ連絡協議会活動への協力	・最新機材との入替え(所有機材は市からの貸与品) ・防災組織の再編成	・防火訓練時富里消防が指導	・効果的な啓発と当番制の採用 ・担い手不足の解消	
26	安心して暮らせるまち	富里第一小学校区協議会	・自主防犯パトロール隊設立,犯罪抑止活動実施 ・夏祭り時の地区青少年相談員の防犯パトロール	・活動費不足 ・活動の地域温度差の底上げ ・活動の継続(担い手の補充)	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・効果的な啓発と地区当番制の採用 ・担い手を求めていることをPR ・高校生や中学生の参加 行政の理解協力が必要	

番号	課題	市 民			行 政	課題解決策	備考
		これまで取り組んできた内容 実例等			関連してこれまで取り組んできた対応策 (協働事業)		
		【取り組み主体】	【課題に対するこれまでの対応】	何が必要とされているか			
27	安心して暮らせるまち	富里第一小学校 区協議会	・登下校児童の安全見守り活動	・活動費不足 ・活動の地域温度差の底上げ	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・効果的な啓発と地区当番制の採用 ・担い手を求めていることをPR ・高校生や中学生の参加 行政の理解協力が必要	
28	安心して暮らせるまち	自治会(南七栄 区会)	・空き地の投棄物やポイ捨てごみの徹底回収 ・篤志家の道路美化奉仕作業を 督励支援 ・会議や広報、回覧等で住民へ啓蒙を続けた	・篤志家を見習う後継担い手の 発掘	・ごみゼロ運動 ・ポイ捨て禁止条例 ・ナイナイキャンペーン ・資源回収運動奨励金	・環境教育を充実させる。 (昨年度市全体で行ったが、地区別などでも行う。) ・小さな行為を発見し投書などで発掘し褒賞するなどの仕組みをつくる。	
29	きれいなまち	富里第一小学校 区協議会	・秋のごみゼロ活動	・決まった場所への監視カメラ 増設	・不法投棄監視員制度	・環境教育を充実させる。 (昨年度市全体で行ったが、地区別などでも行う。) ・広報やマスコミの活用	
30	心の通い合うまち	自治会(南七栄 区会)	・広報や理事会を通じての呼びかけ ・子どもたちへは、登下校見守り活動時などを通じて指導した	・地域づくりは挨拶から挨拶の 出来ない人をつくらぬ努力	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・声をかけて参加を集う。メリットを与える。 ・自分から挨拶をするように努める。	
32	心の通い合うまち	富里第一小学校 区協議会	・子ども 地区の夏祭りを開催 ・高齢者 「生き生き交流会」開催 第一小学校「昔の遊び教室」に 参加、先生役を担った ごみひろいなどの環境美化に 主役となる地区もある バス旅行に隣接地区同士が誘 い合った	・熱意あるリーダーの存在 ・形式的なしばりの取り払い 市に登録すると役員が回って くるからイヤの声もある		・声をかけて参加を集う。メリットを与える。 ・自分から挨拶をするように努める。	

市民団体(地縁組織から NPO までを含む)の活動が広がる環境の乏しさ

(団体間の壁, 地域における団体交流の場や機会の不足, ネットワークの不在, 共助に対する中間支援の不足など)

番号	課題	市民			行政	課題解決策	備考
		これまで取り組んできた内容 実例等			関連してこれまで取り組んできた対応策 (協働事業)		
		【取り組み主体】	【課題に対するこれまでの対応】	【何が必要とされているか】			
2	団体間の連携	環境美化を進める共生の会	・公共施設での月1回の勉強会	・他の団体との積極的な交流 ・同じ活動をしている団体との情報交換 ・勉強会を行政側主催になると参加者が多くなる		・協働まちづくり委員会を組織し, 各団体が情報交換できる仕組みづくり 情報の共有 ・行政, 団体間の共通問題点の意見や情報交換 ・勉強会, 講習会, 講座等(講師は各団体から) ・出会いの場作り (情報の提示, 連携, コミュニケーション, 活動内容の伝達) ・同様の目的を持つ団体の実態把握 ・団体の自主的交流が動き出すまでの間, 行政が交流を取り持つ	
3	地域交流	育てる会	・交流の場所を設ける	・交流の場があっても, 送迎が必要な方が多い	・交流の場としての, 集会所の建設修繕等に対する補助を実施	・活動内容を学校・PTA にも知ってもらおう。一緒に話し合う場が必要なのは。	
3	地域交流	南山わんぱくキッズサポーター	・あいさつ	・小学生の親の協力性が欠けており, 他人まかせの方が多		・活動内容を学校・PTA にも知ってもらおう。一緒に話し合う場が必要なのは。	
3	地域交流	スクールガード	・あいさつ	・小学生の親の協力性が欠けており, 他人まかせの方が多	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・活動内容を学校・PTA にも知ってもらおう。一緒に話し合う場が必要なのは。	
5	地域特性	子ども会育成会 小中学校 PTA	・行事への参加の声かけ ・行政への協力の依頼 ・父親の手伝いのお願い	・小さな子どもからお年寄りまでが参加できるイベント	・子ども会育成会, 小中学校 PTA の活動に対する補助金	・活動内容を学校・PTA にも知ってもらおう。一緒に話し合う場が必要なのは。 ・自治会や行政の資金的支援	
6	地域の手助け活動の制約	自治会員 民生委員	・自治会の個別折衝により民生委員候補者を推薦 ・委嘱民生委員へ活動のすべてを一任	・市, 自治会, 民生委員の協働をはかり, 安全, 安心なまちづくり活動(福祉 防犯 防災)を地域ぐるみで行う公的な態勢の構築を図る	・民生委員協議会活動費補助金 ・社会を明るくする運動への各種団体の参加呼びかけや人的支援	区, 自治会が中心となり行動する。 そのために, ・市行政, 自治会, 民生委員の協働をはかる。 ・民生委員の活動実態を市, 区・自治会単位で話し合い, 何ができるかを模索する。 そのために ・区・自治会が話し合う環境づくりをする。 ・市行政は区・自治会を支援する。 そのために ・区・自治会からリーダー候補を選出する。 ・リーダーの養成, サポートを市, 自治会が行う。	
9	「集うきっかけがない」地区スポーツ大会	自治会	・毎年の夏の活動としての確立(本年度で22回 15回市教育委員会表彰 毎年8月最終日曜日に実施) ・全世帯参加対象 ・実行委員会(区長, 班長が主体)(青少年相談員) ・子供たちも一緒に楽しめる軽スポーツを取入れた	・自治会活動を新規住民に知ってもらうことで参加メンバーを増やす ・他の地区との交流	・とみさとスポーツ健康フェスタ	・地域, 各団体活動の組織を利用して, 運営委員会を作る。 ・市民に情報を公開する場を増やす。 (回覧, とみさと広報等)	
10	「集うきっかけがない」地区スポーツ大会	スポーツ団体	・組織を明確にし, 団体活動の協力・信頼 ・市内, 他市町村との横のつながり	・若い世代から年配者でも楽しめるよう活動, 内容等を構成する	・とみさとスポーツ健康フェスタ	・地域, 各団体活動の組織を利用して, 運営委員会を作る。 ・市民に情報を公開する場を増やす。 (回覧, とみさと広報等)	

番号	課題	市 民			行 政	課題解決策	備考
		これまで取り組んできた内容 実例等			関連してこれまで取り組んできた対応策 (協働事業)		
		【取り組み主体】	【課題に対するこれまでの対応】	何が必要とされているか			
11	ボランティアの 担い手不足	ボランティア連絡 協議会 ボランティアセン ター	・広報「ささえ愛」での呼びかけ ・ボランティア連絡協議会主催の 交流会でのお願い ・体験ボランティアを行う	・他の団体との連携を大事にし ていきたい ・ボランティアセンターの職員の 体制に問題がある 1000 件の 依頼調整及び担い手との面談 には常時 2 人は必要	・社会福祉協議会活動費補助金 ・ふれあい祭り(社会福祉協議会が事務局)への 参加	・体験と通じて、今まで関わりのないものに興味を持ってもらう。 ・ボランティア活動終了後の食事会などで、お互いうちとけられる雰 囲気づくり。	
18	安心して住める 環境づくり	区会(自治会)	・地域犯罪抑止の防犯活動 ・小学生の登下校時の犯罪・事故 防止 ・活動協力者の勧誘	・行政 警察等との連携の強化 ・犯罪情報の公開 ・他地区との交流を図り、志気高 揚を高める	・防犯指導員連合会補助金 ・防犯パトロール車貸出	・職場(経営者)の理解・協力を促す。	
19	組織の運営	自治会(南七栄 区会)	・役員枠の拡大と分担責任の明確 化	・対外業務の増大に関らない足 元への目配りや、経験を重ね調 整指導能力の向上 ・役員を多くしたこと功を拡大 し罪を縮小する努力の継続	・区長会補助金 ・区長会に対する人的支援	・事務所と専従事務員を置く。	
20	組織の運営	富里第一小学校 区協議会	・役員枠の拡大と分担責任の明確 化	・区長が大切な仕事を果たして いることを地区住民へ知らせる こと ・団地地区自治会におけるリー ダー後継者難克服 ・地区別温度差の底上げ		・垣根のない交流の機会づくり ・飲み会など気軽な付き合い機会づくり	
32	心の通い合うま ち	富里第一小学校 区協議会	・子ども 地区の夏祭りを開催 ・高齢者 「生き生き交流会」開催 第一小学校「昔の遊び教室」に 参加、先生役を担った ごみひろいなどの環境美化に 主役となる地区もある バス旅行に隣接地区同士が誘 い合った	・熱意あるリーダーの存在 ・形式的なしばりの取り払い 市に登録すると役員が回って くるからイヤの声もある		・地域、各団体活動の組織を利用して、運営委員会を作る。 ・市民に情報を公開する場を増やす。 (回覧、とみさと広報等)	

行政が各事業の展開において市民参加・参画を保障する環境の乏しさ

(権利保障の不在, 参加・参画手続きの不在, 市民や地域へのエンパワーメント(権限付与)の不足, 中間支援の不足, 職員が現場を知らない状況など)

番号	課題	市民			行政	課題解決策	備考
		これまで取り組んできた内容 実例等			関連してこれまで取り組んできた対応策 (協働事業)		
		【取り組み主体】	【課題に対するこれまでの対応】	何が必要とされているか			
4	環境美化	育てる会	・環境課主体のアダプトに加盟し、福祉センター前の道路のゴミ拾い	・モラルを持った大人への教育	・ボランティア保険への加入 ・ごみゼロ運動 ・ポイ捨て禁止条例 ・ナイナイキャンペーン ・資源回収運動奨励金 ・不法投棄多発個所への花苗の植栽 など	・ゴミの投棄, ポイ捨てなどに対する罰金などを定める。	
4	環境美化	育てる会	・温暖化防止でサンパチェンス普及のアピール	・興味を持ってもらえるようなアピール	・地球温暖化対策の啓発についてホームページ等へ掲載	・ゴミの投棄, ポイ捨てなどに対する罰金などを定める。	
16	財政的支援について	富里国際交流協会	・市民の文化活動への参加は、大きな楽しみであると同時に市民の生き甲斐や、地域活性にも繋がる大切な活動であると考えております ・富里市は国際交流協会の活動に対し理解と支援をしてくださっております	・補助金の新制度策定に際しては、活動上の資金確保および予算会計ルールの新しい定めについても助案の必要があると思われ ・公正さと柔軟さを兼ね備えたルール策定がのぞまれます	・国際交流協会補助金 ・人的支援	・補助金については、行政側が複式簿記や勘定科目の処理を認める。	
19	組織の運営	自治会(南七栄区会)	・役員枠の拡大と分担責任の明確化	・対外業務の増大に関らない足元への目配りや、経験を重ね調整指導能力の向上 ・役員を多くしたこと功を拡大し罪を縮小する努力の継続	・区長会補助金 ・区長会に対する人的支援	・行政が公正対等に結果を評価し、それに見合った財政支援を行う制度や仕組みをつくる。	
23	安心して暮らせるまち	自治会(南七栄区会)	・自主防犯パトロール隊設立、夜間を含む防犯パトロール実施 ・昨年度後半から理事の夜間パトロール参加を呼びかけた	・活動費不足 ・活動の継続(担い手の補充)	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・市の予算に組み込む。 (きちんとした会計報告ができない団体は外す。) ・自主防犯活動団体に対する行政の財政支援 ・自主防犯団体の実質活動内容, 犯罪抑止効果, 活動参加者数などを助案した資金的支援 (青パト, 衣服その他の活動用装着品等)	
24	安心して暮らせるまち	自治会(南七栄区会)	・登下校児童の安全見守り活動	・活動費不足 ・活動を引き継ぐ人	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・自主防犯活動団体に対する行政の財政支援 ・自主防犯団体の実質活動内容, 犯罪抑止効果, 活動参加者数などを助案した物質的支援 (青パト, 衣服その他の活動用装着品等)	
25	安心して暮らせるまち	自治会(南七栄区会)	・防災訓練実施 ・住宅用火災警報器普及啓蒙 ・千葉県婦人防火クラブ連絡協議会活動への協力	・最新機材との入替え(所有機材は市からの貸与品) ・防災組織の再編成	・防火訓練時富里消防が指導	・行政の実態調査と整備支援	
26	安心して暮らせるまち	富里第一小学校区協議会	・自主防犯パトロール隊設立、犯罪抑止活動実施 ・夏祭り時の地区青少年相談員の防犯パトロール	・活動費不足 ・活動の地域温度差の底上げ ・活動の継続(担い手の補充)	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・自主防犯活動団体に対する行政の財政支援 ・防犯活動拠点の整備に対する行政の支援 ・自主防犯団体の実質活動内容, 犯罪抑止効果, 活動参加者数などを助案した資金的支援 (青パト, 衣服その他の活動用装着品等) ・市広報やマスメディアの活用	

番号	課題	市 民			行 政	課題解決策	備考
		これまで取り組んできた内容 実例等			関連してこれまで取り組んできた対応策 (協働事業)		
		【取り組み主体】	【課題に対するこれまでの対応】	何が必要とされているか			
27	安心して暮らせるまち	富里第一小学校区協議会	・登下校児童の安全見守り活動	・活動費不足 ・活動の地域温度差の底上げ	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・自主防犯活動団体に対する行政の財政支援 ・防犯活動拠点の整備に対する行政の支援 ・自主防犯団体の実質活動内容, 犯罪抑止効果, 活動参加者数などを勘案した資金的支援 (青バト, 衣服その他の活動用装着品等) ・市広報やマスメディアの活用	
28	安心して暮らせるまち	自治会(南七栄区会)	・空き地の投棄物やポイ捨てごみの徹底回収 ・篤志家の道路美化奉仕作業を督励支援 ・会議や広報, 回覧等で住民へ啓蒙を続けた	・篤志家を見習う後継担い手の発掘	・ごみゼロ運動 ・ポイ捨て禁止条例 ・ナイナイキャンペーン ・資源回収運動奨励金	・ゴミの投棄, ポイ捨てなどに対する罰金などを定める。	
29	きれいなまち	富里第一小学校区協議会	・秋のごみゼロ活動	・決まった場所への監視カメラ増設	・不法投棄監視員制度	・ゴミの投棄, ポイ捨てなどに対する罰金などを定める。 ・不法投棄物の徹底調査と証拠保存 ・法や条例の再点検と職員への指導 ・条例の整備	
30	心の通い合うまち	自治会(南七栄区会)	・広報や理事会を通じての呼びかけ ・子どもたちへは, 登下校見守り活動時などを通じて指導した	・地域づくりは挨拶から挨拶の出来ない人をつくらぬ努力	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・市の予算に組み込む。 (きちんとした会計報告ができない団体は外す。)	
32	心の通い合うまち	富里第一小学校区協議会	・子ども 地区の夏祭りを開催 ・高齢者 「生き生き交流会」開催 第一小学校「昔の遊び教室」に参加, 先生役を担った ごみひろいなどの環境美化に主役となる地区もある バス旅行に隣接地区同士が誘い合った	・熱意あるリーダーの存在 ・形式的なしばりの取り払い 市に登録すると役員が回ってくるからイヤの声もある		・市の予算に組み込む。 (きちんとした会計報告ができない団体は外す。)	

市民と行政とをつなぐ環境の乏しさ

(協働を促進する媒介窓口の不在, 協働事業を促進する体制の不在)

番号	課題	市民			行政	課題解決策	備考
		これまで取り組んできた内容 実例等			関連してこれまで取り組んできた対応策 (協働事業)		
		【取り組み主体】	【課題に対するこれまでの対応】	何が必要とされているか			
2	団体間の連携	環境美化を進める共生の会	・公共施設での月1回の勉強会	・他の団体との積極的な交流 ・同じ活動をしている団体との情報交換 ・勉強会を行政側主催になると参加者が多くなる		・協働まちづくり委員会を組織し,各団体が情報交換できる仕組みづくり 情報の共有 ・行政,団体間の共通問題点の意見や情報交換 ・団体の自主的交流が動き出すまでの間,行政が交流を取り持つ	
3	地域交流	育てる会	・交流の場所を設ける	・交流の場があっても,送迎が必要な方が多い	・交流の場としての,集会所の建設修繕等に対する補助を実施	・活動内容を学校・PTAにも知ってもらい,一緒に話し合う場が必要なのは。	
3	地域交流	南山わんぱくキッズサポーター	・あいさつ	・小学生の親の協力性が欠けており,他人まかせの方が多		・活動内容を学校・PTAにも知ってもらい,一緒に話し合う場が必要なのは。	
3	地域交流	スクールガード	・あいさつ	・小学生の親の協力性が欠けており,他人まかせの方が多	・パトロール時の車両用ステッカーの配布	・活動内容を学校・PTAにも知ってもらい,一緒に話し合う場が必要なのは。	
5	地域特性	子ども会育成会 小中学校 PTA	・行事への参加の声かけ ・行政への協力の依頼 ・父親の手伝いをお願い	・小さな子どもからお年寄りまでが参加できるイベント	・子ども会育成会,小中学校 PTA の活動に対する補助金	・活動内容を学校・PTAにも知ってもらい,一緒に話し合う場が必要なのは。 ・自治会や行政の資金的支援	
6	地域の手助け活動の制約	自治会員 民生委員	・自治会の個別折衝により民生委員候補者を推薦 ・委嘱民生委員へ活動のすべてを一任	・市,自治会,民生委員の協働をはかり,安全,安心なまちづくり活動(福祉 防犯 防災)を地域ぐるみで行う公的な態勢の構築を図る	・民生委員協議会活動費補助金 ・社会を明るくする運動への各種団体の参加呼びかけや人的支援	区,自治会が中心となり行動する。 そのために, ・市行政,自治会,民生委員の協働をはかる。 ・民生委員の活動実態を市,区・自治会単位で話し合い,何ができるかを模索する。 そのために ・区・自治会が話し合う環境づくりをする。 ・市行政は区・自治会を支援する。 そのために ・区・自治会からリーダー候補を選出する。 ・リーダーの養成,サポートを市,自治会が行う。	
18	安心して住める環境づくり	区会(自治会)	・地域犯罪抑止の防犯活動 ・小学生の登下校時の犯罪・事故防止 ・活動協力者の勧誘	・行政 警察等との連携の強化 ・犯罪情報の公開 ・他地区との交流を図り,志気高揚を高める	・防犯指導員連合会補助金 ・防犯パトロール車貸出	・単位自治会,区長会,行政が協働して,自治会の存在意義を啓蒙する	
19	組織の運営	自治会(南七栄区会)	・役員枠の拡大と分担責任の明確化	・対外業務の増大に関らない足元への目配りや,経験を重ね調整指導能力の向上 ・役員を多くしたこと功を拡大し罪を縮小する努力の継続	・区長会補助金 ・区長会に対する人的支援	・単位自治会,区長会,行政が協働して,自治会の存在意義を啓蒙する	
20	組織の運営	富里第一小学校区協議会	・役員枠の拡大と分担責任の明確化	・区長が大切な仕事を果たしていることを地区住民へ知らせること ・団地地区自治会におけるリーダー後継者難克服 ・地区別温度差の底上げ		・学区担当の職員・議員・他役員も加わって,地域のことを考えて,人と人のつながりを広げていく。	

番号	課題	市 民			行 政	課題解決策	備考
		これまで取り組んできた内容 実例等			関連してこれまで取り組んできた対応策 (協働事業)		
		【取り組み主体】	【課題に対するこれまでの対応】	何が必要とされているか			
21	組織の運営	富里市区長会	・市内76行政区を4部会に分割,16名で理事会を構成	・区長が大切な仕事を果たしていることを地区住民へ知らせること ・団地地区自治会におけるリーダー後継者難克服 ・地区別温度差の底上げ	・区長会補助金 ・区長会に対する人的支援	・学区担当の職員・議員・他役員も加わって,地域のことを考えて,人と人のつながりを広げていく。	
25	安心して暮らせるまち	自治会(南七栄区会)	・防災訓練実施 ・住宅用火災警報器普及啓蒙 ・千葉県婦人防火クラブ連絡協議会活動への協力	・最新機材との入替え(所有機材は市からの貸与品) ・防災組織の再編成	・防火訓練時富里消防が指導	・高齢者のできることや若手を確保出来る方策を行政と考えていく	

その他

番号	課題	市 民		行 政	課題解決策	備考
		これまで取り組んできた内容 実例等		関連してこれまで取り組んできた対応策 (協働事業)		
		【取り組み主体】	【課題に対するこれまでの対応】			
7	担当範囲が広く住民を把握できない	民生委員	・地区社協で行っている、子育て支援(子育て交流会)や、敬老お茶飲み会などをやり、地域の人と顔見知りになる	・地域で民生委員が主になり、住民ともしっかりと積極的にふれあう機会や場づくりをする	・民生委員協議会活動費補助金	
8	担当範囲が広く住民を把握できない	民生委員	・他の団体との連携による活動の場でPR ・地区だよりを発行し、地区回覧で活動の紹介	・民生委員のやりがいや、地域の様々な情報がよく分かるメリットなどをもっと知ってもらう機会	・民生委員協議会活動費補助金 ・活動内容等広報に掲載	
12		富里高校野球部OB会 ・4年前に発足 ・現役部員への寄贈品 ・大会応援の呼びかけ ・レクリエーション(草野球)の開催	・毎年卒業する生徒へOB会の説明と勧誘役員全体で普段から自分の持つ人脈を活かし会の活性化を目指す	・10代 20代というのは、どうしても“選手達を支援する”という意識は低い。しかし、引っ張っていかねばならない30代の人間も仕事・家庭そしてOB会との両立は難しく、ここ2年間は道筋が見えなかったが「OB会年間活動計画表」を作成した事で一年間の行動の“目安”が出来た。あとは各個人の「会」への意識の向上、そして会員として役員としてOB会をどうしていきたいか・何をしたいのかを“考える”事がもっとも重要な事だと思う	・体育協会やスポーツ少年団に対する補助	
13		消防団	・団員の勧誘	・必要な団体だと云う事の啓蒙活動	・活動交付金 ・被服の貸与 ・ふれあい講座(地域を守る消防団)	
14		商店会	・地元商工業者(業社、商店)の活性化、後継者の育成など	・イベント等を行う為に仕事を中断する決断ができるかどうか	・商工業振興事業補助 ・ふるさと祭り補助	
15	若い方の活動参加	NPO 富里のほたる	・会報(パンフレット)を図書館・公民館等に置く ・会員・理事から口コミで行事を知らせる		・公募型補助金	
17	プール開放について	学区ボランティア	・日吉台学区において夏休み期間中のプール開放を提案し学区ボランティアが管理実施	・地域スポーツ振興、学区内ボランティア等でPTA、自治会などで子供達への活動取り組みに際して、事故対応などの公的責任の所在が明確に要望されるが、現在の枠組みでは整合性が認められない		
31	心の通い合うまち	富里第一小学校区協議会	・GF大会 生き生き交流会など交流の機会を意識的に利用 ・学区役員だけでなく、一般参加者へも積極的にあいさつ		・とみさとスポーツ健康フェスタ	
33	心の通い合うまち	自治会(南七栄区会)	・自主回覧及び各戸配布物の作成配布 ・広報紙「WAHANA」の発行(毎月第二水曜日発行) ・掲示板整備活用(4カ所) ・福祉回覧は流動的に対応(原則資源物回し)	・コスト削減に結びつく印刷機器の導入 ・人材(取材編集担当)		